

「情報通信月間」東海総合通信局長表彰

1 個人:1件

(敬称略)

受賞者名	功績の概要
<small>やなぎだ こういち</small> 柳田 公市 (特定非営利活動法人ナレッジネットワーク 理事長)	多年にわたり地域情報化アドバイザーとして、多くの地域の課題解決に取り組まれるとともに、地域経済の活性化や産業振興等の推進に積極的に取り組まれるなど、情報通信による地域の活性化に多大な貢献をされました。

2 団体:3件

(敬称略)

受賞者名	功績の概要
恵那市 (市長 <small>こさか たかね</small> 小坂 喬峰)	ICTを活用した行政サービスの向上に取り組まれたほか、GISを活用した防災システムや獣害対策システムを導入するなど、IoT実装による地域課題の解決に積極的に取り組み、地域の活性化に多大な貢献をされました。
一宮市 (市長 <small>なかの まさやす</small> 中野 正康)	5Gを活用し、全国で初となる公道での複数台の遠隔型自動運転や消防・救急分野での高精細映像伝送の実証実験を官民協働で実施するなど、先進的な情報通信の活用推進に多大な貢献をされました。
株式会社伊豆急ケーブルネットワーク (代表取締役社長 <small>ひま つねひろ</small> 比企 恒裕)	令和3年7月の静岡県熱海市において発生した土石流災害で幹線ケーブルが断線し全サービスが停止となった際、立ち入り禁止地域もあり復旧作業が困難な中、早期復旧に尽力され、地域住民の情報収集手段の確保に多大な貢献をされました。